	破産更生債権等	89,469	13,304	—	102,773	—	—	—	—	—	102,773	
	徴収不能引当金	△ 89,469	△ 13,304	—	△ 102,773	—	—	—	—	—	△ 102,773	
	計	223,796	76,332	55,575	244,553	—	—	—	—	—	244,553	

㈱　1．過年度において特定償却資産の用途変更に伴う指定割合の変更により、建物200,774千円を特定償却資産から特定償却資産以外へ振替えております。そのため、特定償却資産の減価償却累計額は、貸借対照表の損益外減価償却累計額と一致しておりません。
2．建物の当期増加は、主に共通棟増築（215,166千円）、高エネルギー施設治療データ室改修（105,187千円）、旧ＣＥセンター改修（53,741千円）に伴うものであります。
3．工具器具備品の当期増加は、主に高精度放射線治療システム（318,318千円）、手術管理システム（294,222千円）、総合臨床検査システム（260,190千円）、放射線診断システム（258,429千円）の取得によるものであります。

⑵　たな卸資産の明細　（単位：千円）

種　類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘　要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他		
医　薬　品	306,949	4,235,995	—	4,225,642	117	317,184	
診療材料	99,888	2,440,354	—	2,454,474	1,860	83,908	
給食用材料	2,515	139,040	—	139,363	—	2,192	
貯　蔵　品	1,138	—	—	49	—	1,089	
計	410,489	6,815,389	—	6,819,528	1,977	404,373	

㈱　1．当期減少額のその他は、低価法による評価損によるものです。

⑶　無償使用国有財産等の明細
該当事項はありません。

⑷　ＰＦＩの明細
該当事項はありません。

⑸　有価証券の明細

⑸―１　流動資産として計上された有価証券
該当事項はありません。

⑸―２　投資その他の資産として計上された有価証券
該当事項はありません。

⑹　出資金の明細
該当事項はありません。

⑺　長期貸付金の明細　（単位：千円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			回収額	償却額		
関係法人長期貸付金	—	—	—	—	—	
その他長期貸付金						
看護学科学生奨学資金貸付金	136,190	71,120	15,365	11,410	180,535	
初期臨床研修医研修資金貸付金	87,606	—	—	28,800	58,806	
医学科学生奨学資金貸付金	—	2,940	—	—	2,940	
学部学生授業料特別貸付金	—	1,072	—	—	1,072	
卒業生奨学資金貸付金	—	1,200	—	—	1,200	
計	223,796	76,332	15,365	40,210	244,553	

㈱　1．回収額には、１年以内返済予定額（看護学科学生奨学資金貸付金15,365千円）を含みます。
2．償却額は、返済免除による減少額であります。

⑻　借入金の明細　（単位：千円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	平均利率（％）	返済期限	摘要
国立大学財務・経営センター長期借入金	3,067,634	1,260,336	159,326	(195,707) 4,168,644	1.29	平成43年３月18日	
国立大学財務・経営センター債務負担金	11,545,392	—	1,120,256	(1,042,070) 10,425,136	1.94	平成40年９月29日	
計	14,613,026	1,260,336	1,279,582	(1,237,777) 14,593,780			

㈱　1．平均利率は、借入金の期末残高に対する加重平均利率を記載しております。
2．（　）は、１年以内返済予定分を記載しております。

⑼　国立大学法人等債の明細
該当事項はありません。

⑽―１　引当金の明細　（単位：千円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘　要
			目的使用	その他		
賞与引当金	56,083	117,475	56,083	—	117,475	
合　計	56,083	117,475	56,083	—	117,475	